

小笠に残る焼き雛「坊ノ谷土人形」

一つひとつが全て手づくりの土人形は、窯があった場所から「坊ノ谷土人形」と名付けられています。坊ノ谷土人形は明治時代初期、農閑期の副業として三河地方（愛知県）から焼き雛の型と製法を学んだ高木弥左衛門が製作したのが始まりとされています。その後、量産化と低価格化に取組み、東は相良（牧之原市）・島田、西は森・袋井・磐田、遠くは水窪（浜松市）まで販路を拡大、坊ノ谷土人形は広く親しまれるようになりました。

一方、昭和時代初期頃から現在のような「衣装雛」の流行や、戦争の影響により色付け材料の入手が困難になったことなどから、次第に製作されなくなっていきました。

近年において、素焼きの人形へ丹精に彩をつけて完成する焼き雛は、素材さや懐かしさ・土本来の温かみなどが再び評価されています。また、地元の方々を中心に伝統技術を後世へと大切に守り伝える活動が行われたり、小学生を対象とした製作体験教室も実施されています。

坊ノ谷土人形は、菊・桜・梅などの花びらやつぼみを華やかに描いて色付けされていることが特徴です。また、土人形の題材には、歌舞伎の一場面を表した「歌舞伎物」、日常生活・遊び・祭り等に関する「風俗物」、子供を模った「童子物」のほか、「福神」・「天神」・「動物」などの種類があります。



写真1 坊ノ谷土人形の展示（代官原劇場まつり）



写真2 製作体験教室

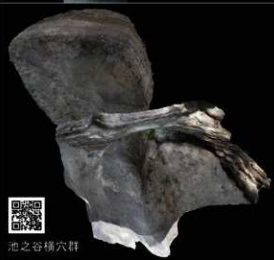
第3章 菊川事典



大頭龍神社 青銅製鳥居



沢田常夜燈



池之谷横穴群

菊川の指定文化財(1)

2023年9月現在

区分	種別	名称	所在地	指定年月日	
国指定	重要文化財	建造物	応声教院山門	中内田	1954.09.17
			黒田家住宅 (主屋・長屋門・米蔵・東蔵)	下平川	1973.06.02 追加指定 1993.04.20
	史跡	菊川城館遺跡群 -高田大屋敷遺跡・横地氏城館跡-	東横地ほか	2004.09.30 追加指定 2009.02.12	
県指定	有形文化財	書跡	紙本墨書大般若経折本(写本)	友田	1960.02.23
		絵画	紙本墨画淡彩山水図	半済	1983.09.27
	史跡	舟久保古墳	高橋	1977.03.18	
市指定	有形文化財	建造物	潮海寺仁王門	潮海寺	1960.02.23
			大頭龍神社の鳥居	加茂	1960.02.23
		彫刻	今川6代義忠の木像	高橋	1990.04.01
			潮海寺仁王像	潮海寺	2023.02.20
		書跡	平尾八幡宮の掛勾額	中内田	1960.02.23
			平尾八幡宮の樓札	中内田	1984.03.26
			平尾八幡宮神社社号彫刻拜殿額	中内田	1984.03.26
			平尾八幡宮宝永年間神無月奉納掛勾額	中内田	1984.03.26
			寿柱尼面像(掛軸)	高橋	1990.04.01
		絵画	驟雨之図(掛軸)	下平川	2023.08.30
	考古資料	平尾八幡宮中世紀河童鬼瓦他散点	中内田	1984.03.26	
	民俗文化財	有形民俗文化財	平尾八幡宮寛政七年御輿	内田	1984.03.26
		無形民俗文化財	潮海寺紙籠おはやし 虚空蔵山福蔵院部分祭	潮海寺 高橋	1960.02.23 1997.01.29
	史跡	段平尾のさんげさんげ	大徳寺の古墳	半済	1960.02.23
			平尾八幡宮奉還時建立大鳥居の礎石	中内田	1984.03.26
		朝日神社古墳	朝日神社古墳	下平川	1997.10.04
			善勝寺楠	柳草	1972.08.01
	天然記念物	熊野神社なぎ	高橋	1978.06.07	
	国登録	有形文化財	建造物	菊川赤れんが倉庫	堀之内

- ★：国指定文化財
- ：県指定文化財
- ：市指定文化財
- ：登録文化財



- 平尾八幡宮
- ・掛勾額
- ・樓札
- ・神社社号彫刻拜殿額
- ・宝永年間神無月奉納掛勾額
- ・中世紀河童鬼瓦他散点
- ・寛政七年御輿
- ・奉還時建立大鳥居の礎石

菊川の指定文化財(2)



写真1 大頭龍神社の鳥居

【地図：P70】市指定有形文化財（建造物）
1824年に建立され、両側の柱に多数の寄進者名が彫り込まれる。



写真2 紙本書大般若経折木（写本）

【地図：P69】県指定有形文化財（書跡）
1287年のものを基とし、以後600巻を完成。妙明寺所蔵。



写真3 平尾八幡宮寛政七年御輿

【地図：P70】市指定有形民俗文化財
国学者である栗田土田の弟・貞良が1795年に奉納。



写真4 平尾八幡宮神社号彫刻拝殿額

【地図：P70】市指定有形文化財（書跡）
江戸時代後期の著名な文化人・兵衛庄右衛門が揮毫。



写真1 今川6代義忠の木像

【地図：P74】市指定有形文化財（彫刻）
高さ260cmの右膝を立てた坐像。正林寺所蔵。



写真2 寿桂尼面像（掛軸）

【地図：P74】市指定有形文化財（絵画）
寿桂尼は、今川氏親亡き後の政務を補佐した。正林寺所蔵。



写真3 善勝寺 楠

【地図：P73】市指定天然記念物
樹齢推定400年以上、樹高約25m・幹周約5.5m。



写真4 熊野神社 なぎ

【地図：P66】市指定天然記念物
樹齢推定500年以上、樹高約19m・幹周約2.1m。

菊川の歳時記



ウメ 代官屋敷梅まつり（原町宮内町）



サクラ 高野原 徳永堂



アジサイ 上倉沢（千船堀町）



キキョウ※ キンラン※



センリョウ 沼津市

※新井崎遠州灘県立自然公園

月	花・自然・風景	特産物	祭り・イベント・行事
1月	センリョウ ウメ	トマト、イチゴ	文化財防火デー【26日】
2月	河津桜 (舟岡山公園ほか)	レタス、メキャベツ	代官屋敷 梅まつり【第1日曜～3月第1日曜】 虚空蔵山福蔵院節分祭（市指定民俗文化財）【第1日曜】
3月	桜（ソメイヨシノ） (横地城、菊川公園、 火楽山ほか市内各地)		報恩寺釈迦祭【15日】 せんがまち あげ道アート 西方ふるさと水源祭【最終土曜】
4月		お茶	横地城桜まつり【第1日曜】
5月			上倉沢の棚田 田植え【5月末～6月上旬】
6月	アジサイ (千船、 獅子ヶ鼻 野高辺)	メロン	
7月			潮海寺紙園まつり (紙園おはやし:市指定民俗文化財)【3年に一度】 段平尾のさんげさんげ (市指定民俗文化財)【基本は第2土曜】
8月		ブルーベリー	安興寺六角堂観音像御開帳【盆の1日のみ】 大頭龍神社例大祭【第4日曜】
9月		イチシク	応声教院皇円阿闍梨大供養祭【彼岸頃】
10月			秋祭り【小笠原第2土・日曜、菊川地域第3土・日曜】 平尾八幡宮例大祭【5年に一度】 上倉沢の棚田 稲刈り【上旬】
11月	センリョウ 菊	トマト、イチゴ	
12月	イチヨウ (内田)	レタス、メキャベツ	

※気候や主催者の都合により、変更ことがあります。



虚空蔵山福蔵院節分祭



潮海寺紙園まつり



段平尾のさんげさんげ



大頭龍神社例大祭



平尾八幡宮例大祭



菊川の「しずおか遺産」(1)

秋葉信仰と街道

天竜川を遡った標高866mの秋葉山は、江戸時代に火防の効力を期待する民衆の信仰を集めました。各地からの参詣者が辿った道は「秋葉街道」と呼ばれ、道沿いや集落到秋葉灯籠などが設置されました。

秋葉街道は遠江と三河・信濃との信仰・交易・交流の大動脈であり、そのことを示す文化財が歴史文化の魅力伝えるものとして、県西部8市町(菊川市及び浜松市・湖西市・磐田市・袋井市・森町・掛川市・牧之原市)を対象地域として「しずおか遺産」に認定されました。



写真1 塩買坂周辺【地図:P74】



写真2 正林寺と塩買坂周辺【地図:P74】



写真3 馬頭観音【地図:P73】



写真4 川原常夜燈と地藏堂【地図:P73】



写真5 問屋の屋敷跡【地図:P67】



写真1 高田常夜燈



写真2 赤土常夜燈



写真3 川西常夜燈



写真4 嶺田常夜燈【地図:P66】



写真5 広畑常夜燈【地図:P67】



写真6 高橋口常夜燈【地図:P66】



写真7 池村常夜燈【地図:P72】

近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶



明治時代、新時代を担う若者教育に力が注がれました。日本各地で寺院等を仮校舎として開校すると同時に、新校舎建設の動きが起ります。旧内田学校職員室は1878年に建設され、東遠地方に唯一残る近代初期の学校施設です。また、周辺の田園風景も、豊かな里山の景観を残すものです。

こうした歴史遺産が明治期の教育にかける意気込みを伝えるものとして、県内4市町(菊川市及び磐田市・森町・松崎町)を対象地域として「しずおか遺産」に認定されました。



写真1 旧内田学校職員室【地図：P70】



写真2・3 旧内田学校職員室(内部)



写真4 小学校周辺の田園風景



古文書っぽいもの



捨てないで!

…地域の歴史を次の世代に…

お宅や地域に、このようなものはありますか?

- 1 古文書
(和紙に墨でくずした文字が書かれたもの)
- 2 古書
(和紙に書かれて本や帳面にしてあるもの)
- 3 明治・大正・昭和の写真・地図・新聞・手紙・日記など
- 4 古い屏風やふすま・掛軸
- 5 自治会などの団体の記録や資料
(戦前までの書類や帳面など)

例えば
こんなもの…



一見すれば、「紙くず」や「ゴミ」に見えるものでも、実は菊川市の歴史・文化を伝える貴重な資料である可能性もあります。

「昔から家にあるけど、処分に困っている」「貴重なものか分からない」という場合も、菊川市埋蔵文化財センターまでご連絡ください。



古い屏風の下に
古文書が貼られて
いることも…

資料を拝見し、お引き受けできるか回答させていただきます

歴史資料の救済 (2)

水濡れ歴史資料の吸水乾燥方法

古い書類・古文書・絵図など（以下、歴史資料）、残しておきたいものを捨てないで済むように、ご家庭でできる簡単な処置方法をご紹介します。

ただし、完全に乾かすためには、専門家の技術が必要です。



やってはいけないこと

- ・ 冊子を無理にこじあげないでください。
- ・ 天日やアイロン・ドライヤーなどで急激に乾燥させないでください。
- ・ 電子レンジでの乾燥も歴史資料を傷めます。



応急措置にあたって

ご自身で全てを行う必要はありません。電気や水道などのライフラインの復旧状況が許す範囲内で対応してください。



作業の前に

- ・ スマートフォンやデジタルカメラで歴史資料の発見状況や作業状況写真を撮影しましょう。
- ・ 以下の点にご注意ください
 - ・ 服装は、エゴシンが作業着。又は汚れてもいい衣服・マスクは、必ず着用
 - ・ エタノールを扱う際には、ゴム手袋を着用
 - ・ 換気は、常に実施し（可能であれば除湿器や換気機、空気清浄機などを利用する）
 - ・ 休憩は、必ず30分以上
 - ・ 作業終了後には、うがい・手洗いを必ず実施
 - ・ 指輪・時計・ブレスレット・ネックレス・ヘアピン・ボールペンや油性ペンなど、歴史資料に損傷を与える危険性があるものは、必ずして作業



用意するもの



※マスクは、N100以上性能が認定されたものを使用
※扇風機は、加湿器や加湿機能のないものを使用

- ・ ペーパータオル（キッチンペーパー）・エタノール（市販の消毒用）・扇風機
- ・ 新聞紙・マスク・ゴム手袋（薄手のもの）・竹べら・竹串・パレット



吸水乾燥方法の手順



軽い水濡れの場合

直射日光の当たらない、通気性の良い場所で陰干しをしてください。

室内では、扇風機などを利用して空気が循環するように心がけてください。

ただし、歴史資料に直接風をあてないでください。



水濡れがひどい場合

① 新聞紙の上にペーパータオルを敷き、資料をのせる。

② ページが開きそうな箇所を確認し、ページを開く。開きにくい場合は、竹べらを使用する。（全てのページを開く必要はありません）

③ 開いたページにペーパータオルを挿入し、冊子を一度裏返し、裏紙の上にペーパータオルをもう一枚置き、上から軽く押さえてペーパータオルに水分を吸水させる。

④ ペーパータオルを挿入したページを再び開き、ペーパータオルを抜き取る。

⑤ 新しいペーパータオルを用意し、別のページを開く。

⑥ ②～④を繰り返す。（※冊子が乾くまで、必ずこの順番作業は繰り返すこと）
※紙の水分が乾かると、エタノールを噴霧する。

⑦ 全てのページが開閉でき、手のひらに水分が移らなくなったら作業完了。その後、風通しの良い場所で歴史資料を陰干しする（直射日光に当たらないこと）。

歴史資料の救済 (3)

水に濡れた写真でも、捨てないでください

水に濡れた写真の応急処置

濡れた写真やフィルムをそのままにしておくと、表面にバクテリアやカビが繁殖し、時間が経つにつれ画像が失われていきます。劣化を少しでも抑えるためのポイントは、できるだけ陰干して**早く乾燥させ**可能な**泥を払う**ことです

できるだけ早く**乾かす**

写真アルバム 広げて 重ねた写真 1枚ずつに



アルバムは、乾燥しやすいように広げておきましょう

写真同士がくっついてはげれなくなることがあるので、濡れているうちに1枚ずつはがして乾かしましょう。

※床に広げて乾かす・洗濯バサミで留めるして乾かすなど



台紙付写真 台紙を広げて

そのまま乾燥すると台紙と写真、薄紙がくっついてしまうので、台紙から写真を広げて乾かしましょう。



袋に入れっぱなしNG

土質袋やビニール袋に入れたままだと濡れた状態が続き、菌等の劣化が進みます。一刻も早く袋から出して乾燥させてください。

額入り写真 額から出す

写真がガラスにくっついたまま乾燥するとはげれなくなることもあるので、早急に額から出して乾かしましょう。

※ガラスに貼り付けたままでは無理に剥がさないほうが良い場合もあります

その後、余裕ができれば

洗浄が拭き



しっかり乾燥させていれば、画像の劣化を抑えることができます。余裕ができれば水洗いしたり拭いたりして、写真を綺麗することもできます。

- 富士フィルムと共同制作した
- ◆ 塩漬プリントの構造
- ◆ 応急処置（乾燥）
- ◆ 切り出し・洗浄・拭き 他



の動画（基礎編）を下記 HP で公開しています。

被災写真救済ネットワーク <http://www.rescue-photo.net> info@rescue-photo.net

[f](https://www.facebook.com/rescuephotonet) [i](https://www.instagram.com/rescuephotonet) @rescuephotonet 事務局：(一社) 三陸アーカイブズ防災センター

本報のプリント・コピー・配布・転載は自由です。状況に合わせてご利用ください（不得转载）

美術品・工芸品の保管方法

大切な資料を守り、伝えるために、ご家庭でもできる取り組みを紹介します。

1 保管場所

- (1) 日の当たらない涼しい場所で、湿気の少ない場所が最適です。
- (2) 雨漏りは厳禁です。

2 保存箱

- (1) 木箱や茶箱など、湿度の影響を受けにくい容器を使うことをおすすめします。
- (2) 箱を床に置く場合は、水濡れを防ぎ風の通り道を確保するため、すのこなどを敷いた上に置く事をおすすめします。
- (3) 箱の表に、収納されているものを表示しておきましょう。中身が確認できるようにすると、整理整頓に便利です。

3 日常管理

- (1) 保存箱の中に防虫剤を入れましょう。市販の防虫剤が使用できます。ただし、種類が異なるものや違うメーカーのものを複数同時に使用すると、化学反応により資料を汚す恐れがあります。
- (2) 傷みや破損から大切な資料を守るために、日頃から以下のことに気を付けましょう。
 - ・整理整頓・清掃をしてから、きれいな手で取り扱う
 - ・資料を扱うときに、近くで飲食や喫煙をしない
 - ・資料を直射日光のあたる場所に放置しない
 - ・資料に付箋・糊・テープ・輪ゴム・クリップ・ホッチキスを使わない
- (3) 年に1～2回、外気に触れさせて虫干しをしましょう。雨が降った直後や梅雨期など湿気が多い時期は避け、直射日光に当てないよう陰干しをしてください。虫干しの際には資料に破損や汚れがないか点検します。あわせて、保管場所の環境に変化がないか、動物や虫などの侵入がないか、確認しましょう。

日頃の取り組み 自主点検リスト

日頃から資料を取扱う上で気を付けたいことを確認するためのリストです。

項目	取り組み	チェック欄
保管場所 の 環境管理	直射日光があたっていないことを確認していますか？	<input type="checkbox"/>
	整理整頓がされていますか？	<input type="checkbox"/>
	定期的にはほこりを払い、清掃を行っていますか？	<input type="checkbox"/>
	雨漏りがないか確認していますか？	<input type="checkbox"/>
	湿気によるカビの発生がないか確認していますか？	<input type="checkbox"/>
資料管理	虫やねずみ、鳥などの侵入がないか確認していますか？	<input type="checkbox"/>
	ハザードマップなどを確認し、被災する可能性が高い被害を確認していますか？	<input type="checkbox"/>
	定期的な虫干しを行っていますか？	<input type="checkbox"/>
防虫対策	保存箱の破損や汚れを定期的に確認していますか？	<input type="checkbox"/>
	防虫剤の交換を行っていますか？	<input type="checkbox"/>
防虫対策	資料の所在・数量を定期的に確認していますか？	<input type="checkbox"/>

※新たに資料を受け入れる際には、以下の項目についても確認しましょう。

項目	取り組み	チェック欄
地震対策	破損しやすいものは、緩衝材で包む等の措置をしていますか？	<input type="checkbox"/>
	高いところにあるものは、落下防止の対策をとっていますか？	<input type="checkbox"/>
水害対策	浸水等の被害を受ける恐れがある場所で保管する場合、高いところに保管する等の対策をしていますか？	<input type="checkbox"/>

【参考文献】

- ・新潟県歴史資料保存活用連絡協議会 2008年『古文書保存・整理の手引き』
—新潟県立文書館 (改訂版) <http://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/1b0440f94c0b77ae67441d7d095801ab/> / リンク1
- ・大分県立先哲史料館「あなたにもできる！簡単な史料管理術」
—<https://www.pref.oita.jp/site/santetsu/iryukan/2002445.html>
- ・群馬県立文書館・群馬県市町村公文書等保存活用連絡協議会『史料保存の手引き』
※全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 ホームページ「アーカイブズ実務情報リンクバンク」に掲載
—<http://jaei.jp/11ekbank/tpdata/gnmml.pdf>

親の遺品を管理したら、
刀を買った

倉庫から
大銃銃が出てきた

登録証はありますか？

登録証のない銃砲刀剣類を所持したり、売買したりすることは法律違反です（銃砲刀剣類所持等取締法（以下、銃刀法）第3条・17条・18条）。
法律違反とならないために、以下のポイントをおさえておきましょう。

1 登録証があるか確認

銃砲刀剣類を発見したときは、最初に登録証があるかどうかを確認してください。

登録証は銃砲刀剣類と一緒に、他の重要書類と一緒に保管されていることが多いです（登録証があれば、下記3へ）。

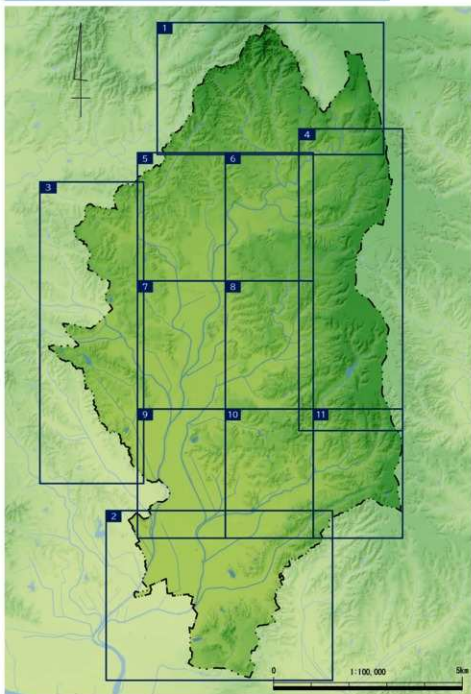
2 最寄りの警察署に連絡

- ・登録証が見つからない場合、**発見場所**の最寄りの警察署に連絡してください（銃刀法第23条）。
- ・警察が発見状況を調査する場合がありますので、**指示があるまで移動せず、発見したままの状態**にしておいてください。

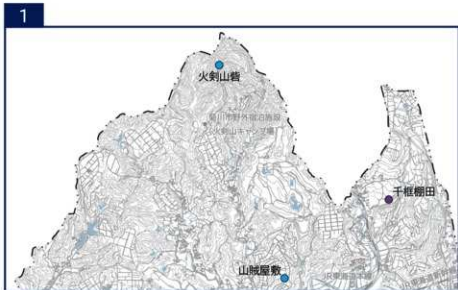
3 登録証があれば所有者変更

- ・登録証のある銃砲刀剣類を相続・譲り受け・購入したら、20日以内に所有者変更の届出が必要です（銃刀法第17条1項）。
 - ・銃砲刀剣類と登録証を必ず一緒に譲り受けてください。
 - ・所有者が変更しても、登録証は同じものを使います。
- また、所有者の所在地に関わらず、登録元の都道府県に届出書を提出します。

少しでも不明な点があれば、警察署へご相談ください



地図 (2)



1:50,000 0 1000m 2000m 古代 ● 中世 ● 近世 ● 近現代 ●

地図 (3)

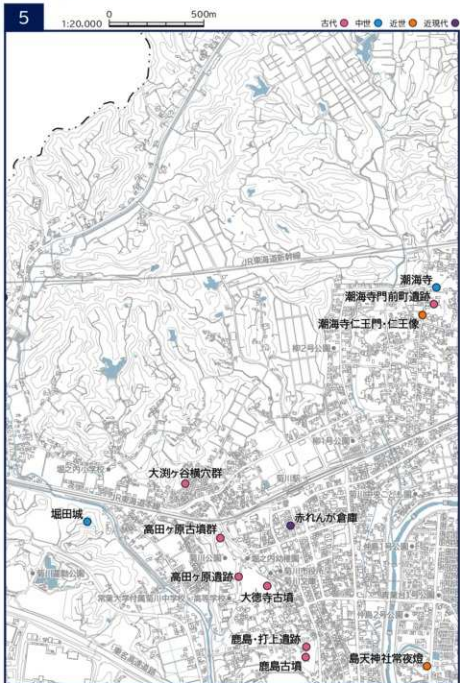


1:50,000 0 1000m 2000m

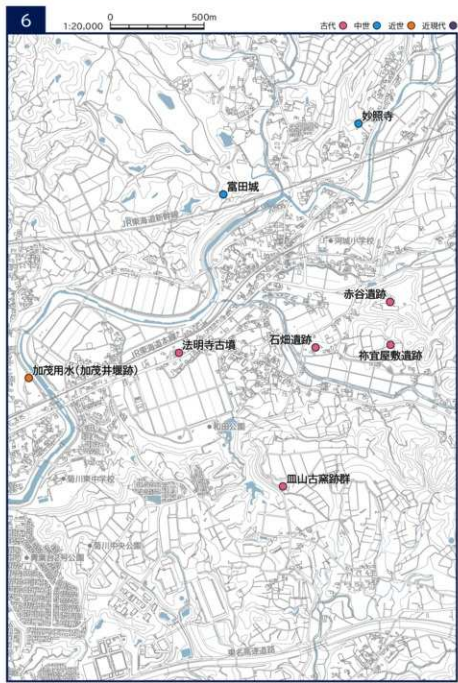


1:50,000 0 1000m 2000m 古代 ● 中世 ● 近世 ● 近現代 ●

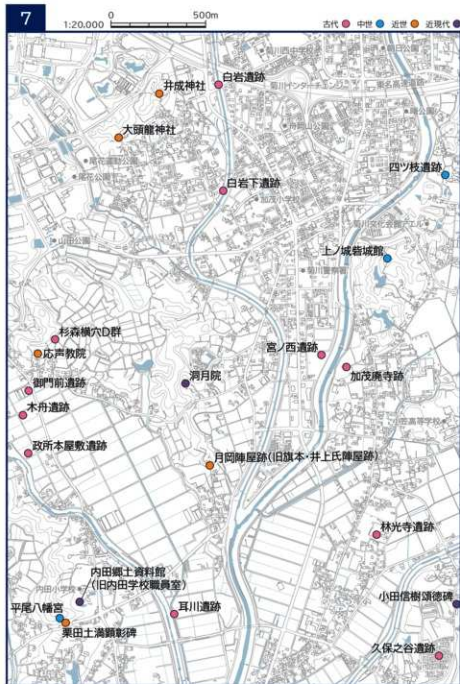
地図 (4)



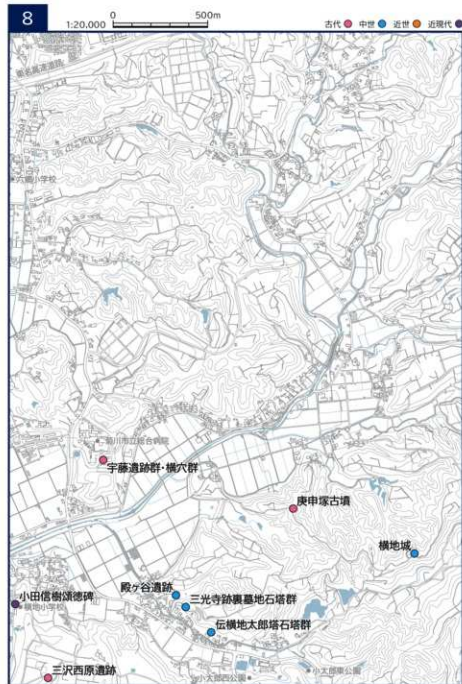
地図 (5)



地図 (6)



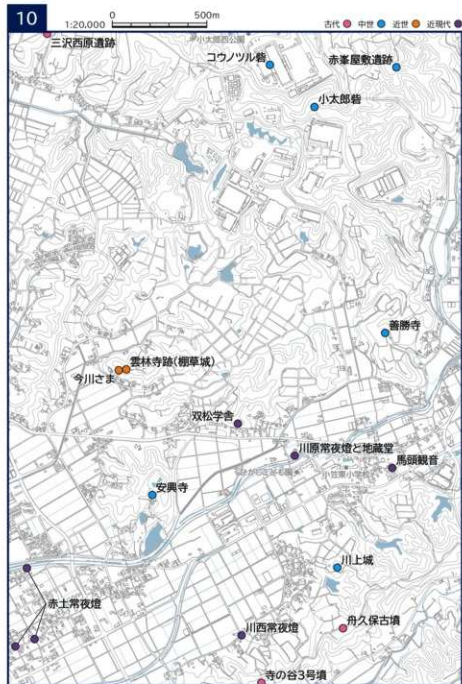
地図 (7)

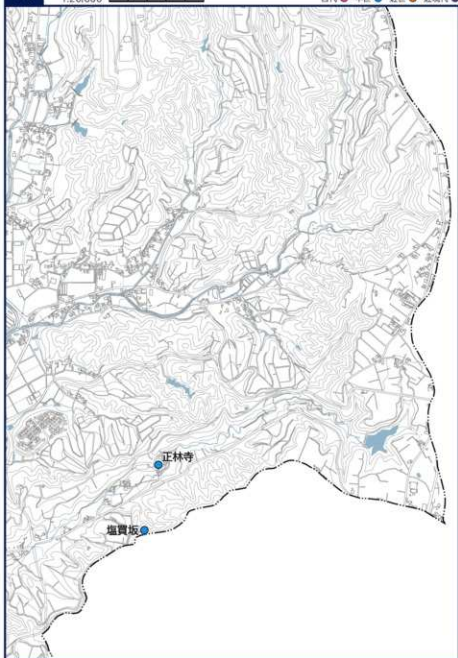


地図 (8)



地図 (9)





■ 最新の文化財情報は・・・?

菊川市埋蔵文化財センター [地図：P72]

菊川市内の遺跡で発掘調査を行い、整理・検討して調査報告書を作成しています。また、出土品の保管や展示・体験などの活用の拠点です。

【住 所】菊川市下平川 618-1

【電 話】0537-73-1137

【入館料】無料

【休館日】土・日曜日、祝日、年末年始

【駐車場】あり

【バス停】「平田」から徒歩約 10 分



■ 江戸時代の代官の生活は・・・?

黒田家代官屋敷資料館 [地図：P72]

黒田家が所蔵する掛軸や屏風・陶磁器などの美術工芸品を展示しています。さらに、長屋門をはじめとする黒田家住宅の概要解説も行っていきます。

【住 所】菊川市下平川 862-1

【電 話】0537-73-7270

【入館料】160 円

(中学生以下・市内在住者は無料)

【休館日】月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始

【駐車場】あり(大型バス共用約 30 台)

【バス停】「平田本町」から徒歩約 10 分

【備 考】黒田家住宅・資料館展示の解説を希望される場合は、事前に菊川市埋蔵文化財センターへご相談ください。

■ 近代の教育は・・・?

内田郷土資料館 [地図：P70]

しずおか遺産の構成文化財としての内田小学校職員室は、現在の内田小学校敷地内に位置しています。教育関連だけでなく民俗資料も充実しています。

【住 所】菊川市下内田 1730

【電 話】0537-36-5499 (内田地区センター)

【入館料】無料

【備 考】見学を希望される場合は、事前に隣接する内田地区センターにお問い合わせください。



■ 黒山の暮らしは・・・?

山内郷土資料館 [地図：P66]

虚空蔵山福蔵院に隣接する資料館です。明治時代～昭和時代前期頃までの農具や家財道具などを中心とした民俗資料を展示しています。

【住 所】菊川市高橋 4866

【入館料】無料

【備 考】通常は休館しています。

見学を希望される場合は、事前に菊川市埋蔵文化財センターへご相談ください。



あ行

赤谷遺跡	7
赤土宮夜敷	57
赤塚家敷遺跡	54
赤丸が倉庫	23,36,48,49
秋葉街道	20,21,32,55
新日社古墳	8,9,32,35,48,49
安興寺	32
池之谷横穴群	47
池之谷夜敷	57
石塚遺跡	4,40
井成神社	19,36
井上重成	16
井上正真	16
今川忠生	29
今川義也	14,15,32,48,49,51
井宮神社	18,19
上ノ城宮城跡	54
内田郷土資料館	75
内田氏	12
宇藤遺跡群,横穴群	40,43
雲林寺跡	29
雲井院跡	21,24,36,38,48,49
大宮惣史成	18
大洲ヶ谷横穴群	8,31
小笠原学校	24,25
小笠原水堀説明会同盟会	26
間部寺	30
小田原町	41
落合藤八	37
オット梅園亭	25
御前崎軌道	25,36

か行

高島ノ打上遺跡	6
高島古墳	36,39
袴	29
上平川大塚古墳	23,8,9,32
加茂用水	18,19
加茂原寺跡	10
川上城	54
川崎街道	36,40,55
川田・東原遺跡群	6,7
川西宮夜敷	57
川西宮夜敷土壌調査	56
藪川(インナーカンジ)	27
藪川渡船場	36

藪川市歴史文化センター	75
城東町車路道	24,25,36
木舟遺跡	39
田井上氏陣屋跡	36
田内内田学校職員室	23,58
郷里筆記	20
共立薬師病院	27
久保之谷遺跡	4,5
熊野神社	48,49,51
栗田土藏	20,21,37
栗田家住宅・代官屋敷	17,22,35,48,49,52,54
栗田代官屋敷資料館	75
栗中塚古墳	40
コウノツル寺	54
国策大井川農業水利事業	26
虚空藏山稲蔵院	32,48,49,53
虚空藏横穴群	9
小太郎寺	12,44,54

さ行

佐原谷隧道	25
嵐山古墳群	10,40,42
沢田宮夜敷	47
三光寺跡裏遺地石塔群	45
山崎宮敷	54
塩賀野	14,15,23,32,52,56
獅子ノ鼻野	14,28,54
高天神社宮夜敷	20,21
志保堂古墳	34
藤原之戻	35,48,49
寿桂尼	32,48,49,51
宮夜敷	32,42
正林寺	14,15,32,49,56
白岩下遺跡	4,5
白岩遺跡	6
塚原寺1号墳	34
杉森横穴群	8
間山跡古	17,22,23,37
千原御田	37,52
新藤寺	48,49,51,52
双松学舎	40

た行

大徳道神社	36,47,48,49,50,53
大徳寺古墳	8,9,36,39,48,49
高田大塚敷遺跡	12,36,45,48,49
高田ヶ原古墳	8,9

高田ヶ原古墳群	36,39
高田ヶ原遺跡	6
高田宮夜敷	57
高橋口宮夜敷	57
高城城	54
高草城	54
高草村文書	29
高草用水	29,32
段平屋の茶臼跡	36,48,49,53
高草稲農田	27
瀬海寺	40,43,48,49,53
瀬海寺仁王門・仁王像	40,43,48,49
瀬海寺門前町遺跡	12,40
月岡陣屋跡	16,17
塩城	15,84
寺の谷3号墳	8
伝説地太郎塔石塔群	45
月岡院	37

東秀南地蔵	24,25
徳川家康	14,15,16,18,20
殿ヶ谷遺跡	44
富田城	40,54
間山跡屋敷群	56

な行

二ノ谷古墳群	10
新宮屋敷遺跡	6

は行

橋本橋一郎	22,33,35
八幡ヶ谷古墳	32,34
馬頭観音	56
白岩遺跡	6
大朝山宮	54
平尾八幡古墳	36,48,49,50,53
広徳宮夜敷	57
深淵上原稲蔵院の礎	27
舟久保古墳	8,9,32,34,35,48,49
坊ノ谷土形	32,46
法明寺古墳	40
稲田城	54
堀之内穴	23,36,55
堀之内軌道	24,25,36,55
本多利久	16,17
本多利長	16
本町原城	33

ま行

保賢家文書	13
松ノ中寺	33
丸尾文六	22,29,41
三沢本願寺敷遺跡	7,10,36,39
新門前遺跡	10,39
三沢古墳群	4,5,6,40
瀬海宮夜敷	57
稲田文書	19
稲田用水	18,19,32
稲田遺跡	6,7
耳川遺跡	6,17
宮ノ西遺跡	6,10,36,38
妙興寺	40,48,49,50

や行

八木美穂	20
八ツ谷遺跡	54
山田次郎墓	41
山西郷土資料館	25
横畑(丸尾城跡,堀)	12,13,14,15,40,44,45,48,49,54
横野賀金谷住居	40,55
四ツ辻遺跡	12

ら行

光光寺遺跡	8
-------	---

- 菊川市域に関わる人名、件名、遺跡名、寺社名などを中心に抽出した。
- 項目の配列は、五十音順(五三上)。

図版出典

*は、改変を加えていることを示しています。

ここに掲出していないものは、本書刊行にあたり新たに作成したものです。

3頁	東京国立博物館 掲載許可
5頁 図1	*国土地理院 基盤地図情報
写真2左	高松市博物館 提供
写真2右	富士市教育委員会 提供
写真3	富士山町教育委員会 1991年『茂原林』
写真4	菊川町教育委員会 2017年『どきどき通信№6』
写真4	高松市博物館 提供
7頁 図1	菊川市教育委員会 2020年『どきどき通信№11』
図2	*国土地理院 基盤地図情報
写真3	小笠町教育委員会 2001年『川田・東原田遺跡』
9頁 図2	*大垣市教育委員会 2003年『大垣の古蹟時代』
	*文化庁文化財部記念物課 2013年『築城調査のびきー各種遺跡調査編-』
	*奈良文化財研究所埋蔵文化財センター 2002年『報告書作成の手引き』
図4	*国土地理院 基盤地図情報
写真1	小笠町教育委員会 1984年『池ヶ谷横穴墓』
11頁 図1	小泉 邦紀氏 提供
	小泉 邦紀 2018年『静岡県内の木造・墨書土器の出土遺跡』『東海の地方官衙と木造』木造学会
図2	磐田市教育委員会 提供
図3	*国土地理院 基盤地図情報
写真1	藤枝市教育委員会 1993年『静岡国『古太郎西経』』
15頁 写真1	菊川町教育委員会 1993年『高田大塚敷遺跡』
15頁 図1	*静岡県観光交流課 2023年『高天神社遺跡 vol.01』
23頁 写真3	友松学舎創設会 1977年『友松学舎創設記念誌』
写真5	菊川町史編さん委員会 1989年『菊川地域城史(菊川町史・別編)』菊川町
25頁 写真1	菊川町史編さん委員会 1965年『菊川町史』菊川町
写真3	菊川町史編さん委員会 1989年『菊川地域城史(菊川町史・別編)』菊川町
写真4	国土交通省中部地方整備局 国土地理院 2009年『天竜川・菊川 川の流れと歴史のあゆみ』
写真5	『写真でみる東南海地震』編集委員会 1994年『写真でみる東南海地震』
27頁 写真1	菊川町 50周年記念誌編さん委員会 2004年『菊川町 50周年記念誌『みより』』菊川町
写真2	東名高速道路建設誌編さん委員会 1970年『東名高速道路建設誌』日本道路公社
28頁 図1・2	*静岡県観光交流課 2023年『高天神社遺跡 vol.01』
33頁 写真2	菊川町 50周年記念誌編さん委員会 2004年『菊川町 50周年記念誌『みより』』菊川町
写真3	友松学舎創設会 1977年『友松学舎創設記念誌』

34頁 図1	静岡県教育委員会 2001年『静岡県の前方縄文遺跡』
写真2~4	静岡県埋蔵文化財センター 提供
35頁 図1	静岡県埋蔵文化財調査研究所 2009年『菊川市下平岡の遺跡群』
37頁 写真1	個人 提供
写真2	国立国会図書館 https://ndl.go.jp/
写真3	菊川町 50周年記念誌編さん委員会 2004年『菊川町 50周年記念誌『みより』』菊川町
38頁 写真2・3	菊川市教育委員会 2015年『宮ノ西遺跡発掘調査報告書』
39頁 写真1	菊川市教育委員会 2022年『どきどき通信№11』
写真2	菊川市教育委員会 2020年『どきどき通信№11』
写真4	菊川市教育委員会 2021年『どきどき通信№12』
41頁 写真1	菊川町 50周年記念誌編さん委員会 2004年『菊川町 50周年記念誌『みより』』菊川町
写真2	SPO 法人菊川まちいき 2013年『菊川市レラガ倉庫』
写真3	『河城名所・人物100選』実行委員会 2004年『河城名所・人物100選』
42頁 図1	菊川市教育委員会 2023年『菊川市の常夜燈』
写真1	菊川市教育委員会 2006年『血山古塚群跡』
写真2	菊川市教育委員会 2021年『どきどき通信№13』
43頁 写真2	菊川市教育委員会 2023年『菊川市文化財年報-第16号-』
写真3・4	菊川町教育委員会 1996年『宇摩遺跡群』
44頁 図1	*菊川市 2022年『史跡菊川城跡遺跡群整備基本計画』
写真1	菊川町教育委員会 1988年『殿ヶ谷遺跡発掘調査報告書』
写真2	菊川町教育委員会 1999年『旗地域城跡 総合調査報告書』
45頁 図1・2	*菊川市 2022年『史跡菊川城跡遺跡群整備基本計画』
49頁	*国土地理院 基盤地図情報
51頁 写真1・2	正林寺 提供
54-55頁	*国土地理院 基盤地図情報
60頁	*歴史資料ネットワーク 提供 http://siroya-net.jp/
61頁	(一社) 三陸アーカイブズ減災センター 提供 http://www.rescue-photo.net
65~74頁	*国土地理院 基盤地図情報

執筆・執筆分担

執筆欄()内数字はページ番号

鈴木 敏則	元浜松市博物館 館長	(4~11, 34, 35下, 38下, 39, 43下)
松井 一明	織豊期城郭研究会	(12~15, 28・29, 42下, 44・45)
松本 稔章	掛川市文化財保護審議会 委員	(16~21)
川上 努	静岡県近代史研究会 会員	(22~27)
北原 勤	菊川市文化財保護審議会 会長	(32・33, 36・37, 40・41)
		上記以外は、事務局

菊川市歴史検定委員

北原 勤	菊川市文化財保護審議会 会長 (2022・2023年度)
落合 悠生	菊川市立小笠東小学校 教諭 (2023年度)
黒田 潔	元中学校 教諭 (2023年度)
西田 かほる	静岡文化芸術大学国際文化学科 教授 (2023年度)
鷺山 達典	菊川市立内田小学校 教諭 (2023年度)

事務局 (2022・2023年度)

松本 嘉男	菊川市教育委員会 教育長
岡本 啓司	菊川市教育文化部 部長
黒田 和哉	同 連携調整室 (2023年度)
濱野 和宏	菊川市教育委員会社会教育課 課長
泉 敬秀	同 社会教育課文化振興係 係長
丸杉 俊一郎	同 社会教育課文化振興係 指導主事
袴田 将汰	同 社会教育課文化振興係 主事 (2022年度)
伊藤 匠	同 社会教育課文化振興係 主事 (2023年度)

ふるさと教本きくがわ

編集・発行 菊川市教育委員会社会教育課

〒437-1514 静岡県菊川市下平川 618-1

TEL 0537-73-1137 FAX 0537-73-1138

発行年月日 2024年7月